

プルサーマル計画推進に向けた取り組み状況について

平成13年12月21日
北陸電力株式会社

当社は、2010年までのプルサーマル実施に向け検討を進めておりますが、本年6月に「プルサーマル推進委員会」を設置し、先ずは地域の皆さまに原子力に対するご理解を深めていただくことが重要であると考え、別紙のとおり取り組んでまいりました。

一方、電気事業連合会では、本日、当社を含む各社のプルサーマル計画推進に向けた取り組みをとりまとめ、公表しております。

当社としましては、今後とも、広く皆さまからご理解とご協力を賜りますよう努力してまいり所存です。

以 上

別 紙 プルサーマル計画推進に向けた取り組み状況（北陸電力）

参 考 プルサーマル計画推進に向けた取り組み状況について（電気事業連合会）

プルサーマル計画推進に向けた取り組み状況

1. プルサーマル実施の基本方針

2010年までの導入を目指し、具体的計画について検討中。まずは地域の方々の理解を深めていただく活動を推進していく。

2. 原子力に対する理解活動

(1) 原子力関連施設見学会の実施(10月～11月の見学者数)

- 原子力関連施設見学者数 約9,900人(前年同期 約2,400人増)
内訳: 志賀原子力発電所見学者数 約7,700人(前年同期 約2,800人増)
六ヶ所再処理施設等その他の原子力施設見学者数
約500人(前年同期 増減なし)
アリス館案内付(フルアテンド)見学者数
約1,700人(前年同期 約400人減)

(2) 双方向コミュニケーションの強化(8月～11月の活動実績)

- エネルギースポークスマンを全支店支社に配置 (配置者数 約100人)
- 管内全戸配付広報誌「えるふぷらざ」、女性向け広報誌「リビングポケット」を活用した広報の実施(えるふぷらざ110万部、リビングポケット11万部)
- オピニオンリーダーへの訪問活動、ダイレクトメールによる広報の実施
(訪問活動 約2,500件、ダイレクトメール約3,400件)
- 各種会合(カルチャー教室、婦人会)等への出前広報の実施
(約40回、参加者約830人)
- ホームページに原子燃料サイクルに関する新コーナーを開設 (12月開設)

(3) 次世代層へのエネルギー教育支援活動の強化(8月～11月の活動実績)

- アリス館、エネルギー科学館「ワンダーラボ」での科学イベント等の実施
(アリス館来館者数 約87,000人、ワンダーラボ来館者数 約81,000人)
- 社員講師による中・高校への出前講座の実施 (7回、参加者約500人)
ビデオ等エネルギー教材の中・高校への配付
(新規ビデオと副読本を制作、全420校を訪問し活用依頼中)

以上